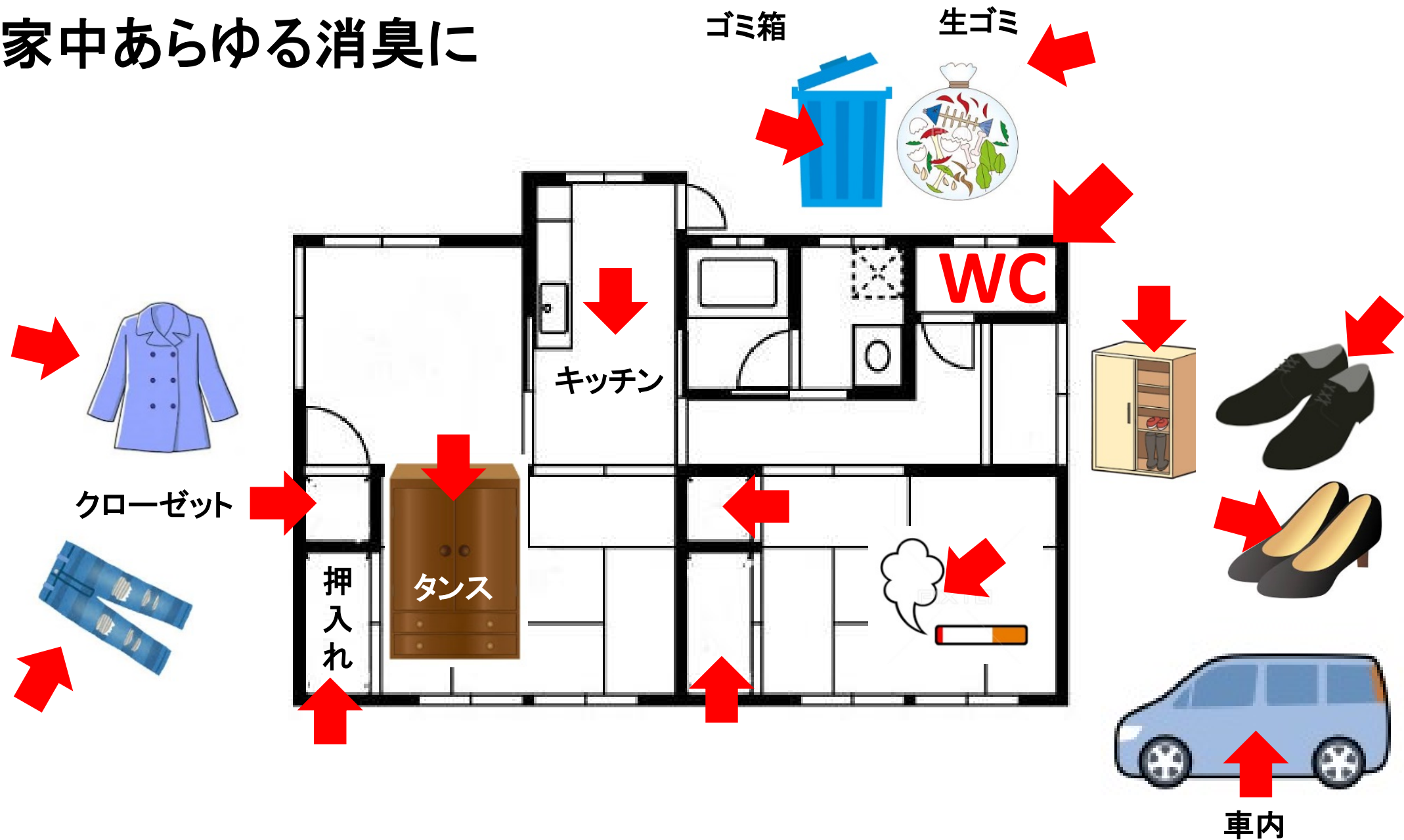


H29年12月18日

無臭透明触媒型消臭剤
消臭パワー達人

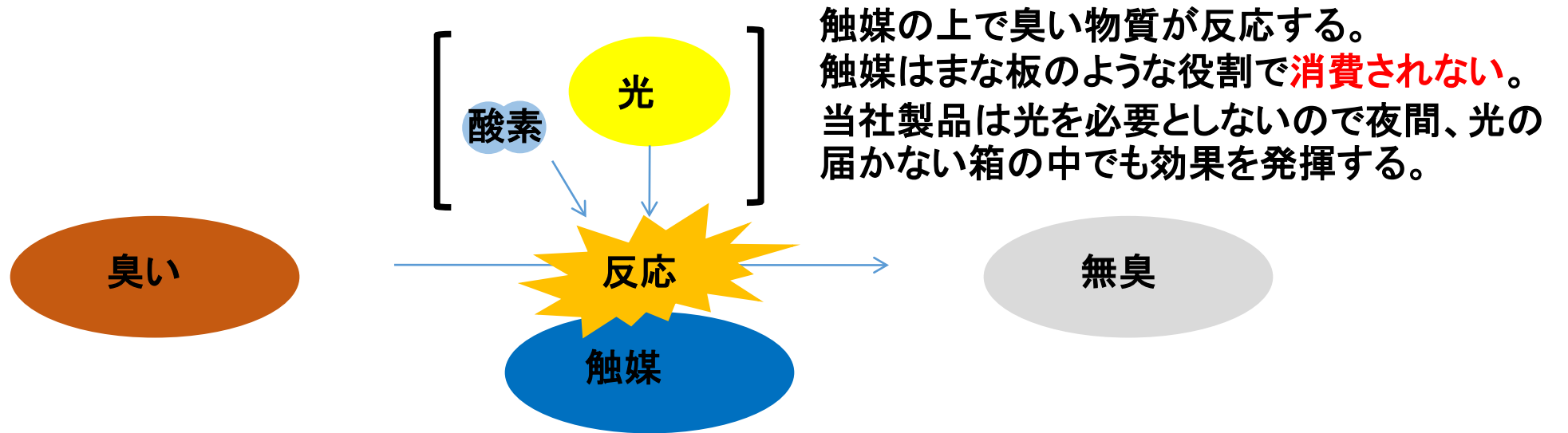
株式会社LAPO

家中あらゆる消臭に

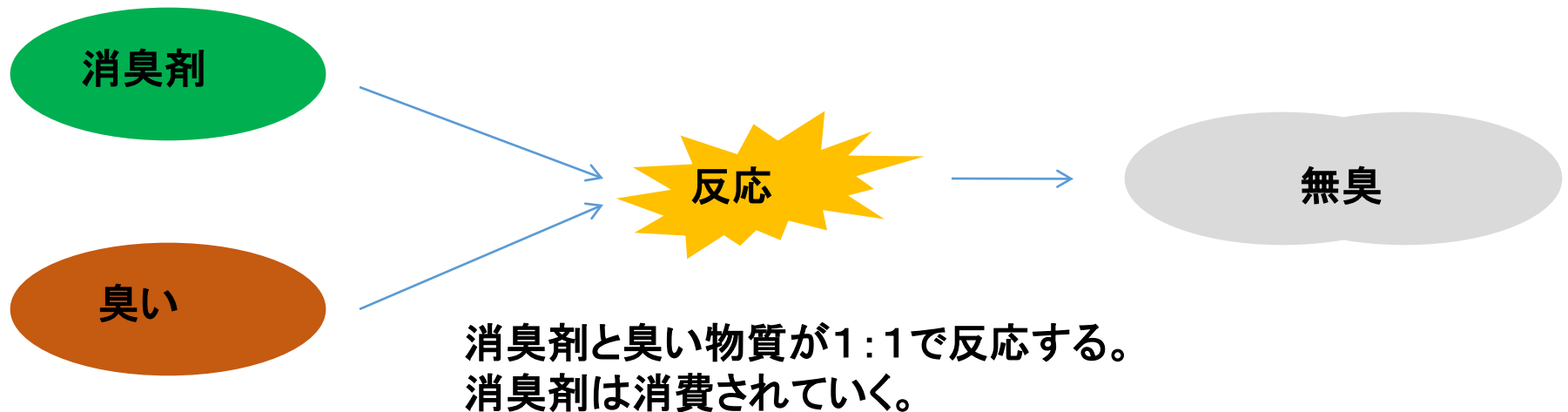


消臭剤は大きく分けて触媒型、中和型と吸収型の3種類がある。

(光)触媒型

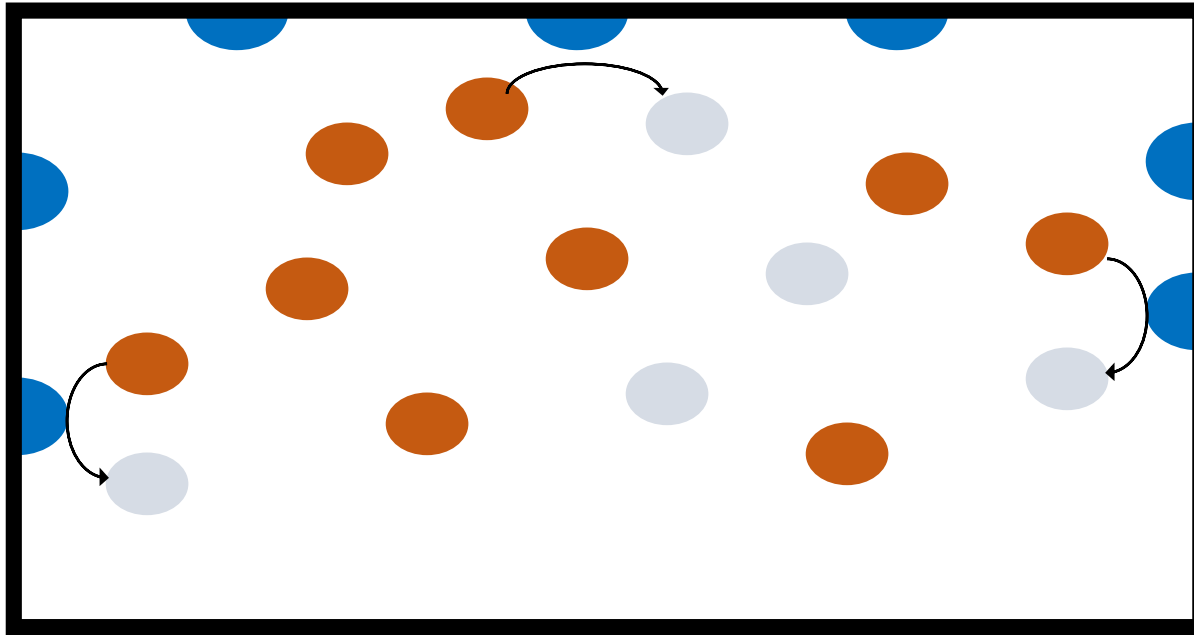


中和型



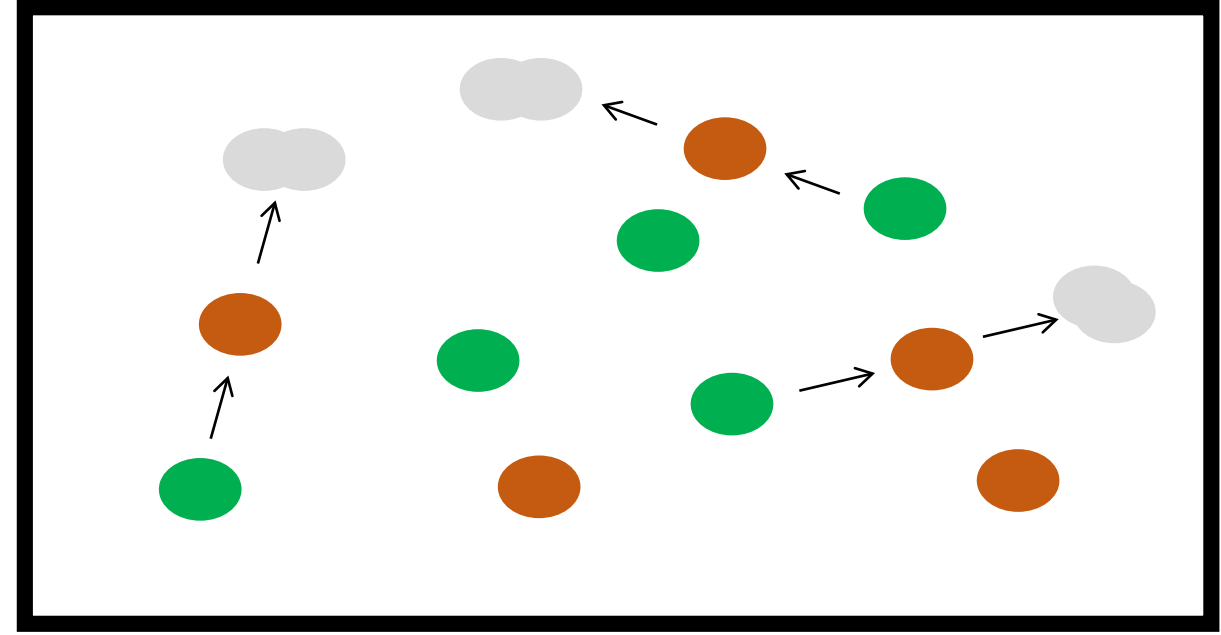
吸着型:主に活性炭を使用したもの。飽和すると効果がなくなる。

室内での使用イメージ



触媒型

壁・天井に付着させて使用。
消費されないので持続性がある(即効性は劣る)。
壁、天井に付着するので吸入しない。



中和型

悪臭の原因物質に直接作用する。
消費するので即効性はあるが持続性がない。
空気中に飛散するので吸入してしまう。

壁、天井、カーテン、収納箱や、ゴミ箱の内側に塗布するだけで消臭し続けます。

触媒型他社品との比較

ホルムアルデヒド、アンモニア分解の結果

	主成分	アンモニア			ホルムアルデヒド		
		太陽光	LED (可視光)	暗所	太陽光	LED (可視光)	暗所
当社品	新規	○	○	○	○	○	○
比較例1	酸化タングステン	△	×	×	△	×	×
比較例2	酸化チタン	△	×	×	○	○	×
比較例3	酸化チタン	△	×	×	○	○	×
比較例4	酸化チタン	△	×	×	○	×	×

薄暗い環境のトイレの臭い(主にアンモニア臭)において当社消臭剤の効果は際立つ。

酸化チタンでもLED照明のように可視光でもホルムアルデヒドを分解できるものもあるが、光の無い場所においてはホルムアルデヒドの分解が出来るものは当社製品のみであった。

下の3種は、中国国内で販売されているもの。中国では建材からのホルムアルデヒドの発生が問題となっているため、酸化チタンに添加剤を加えてホルムアルデヒドへの効果を持たせている商品がある。

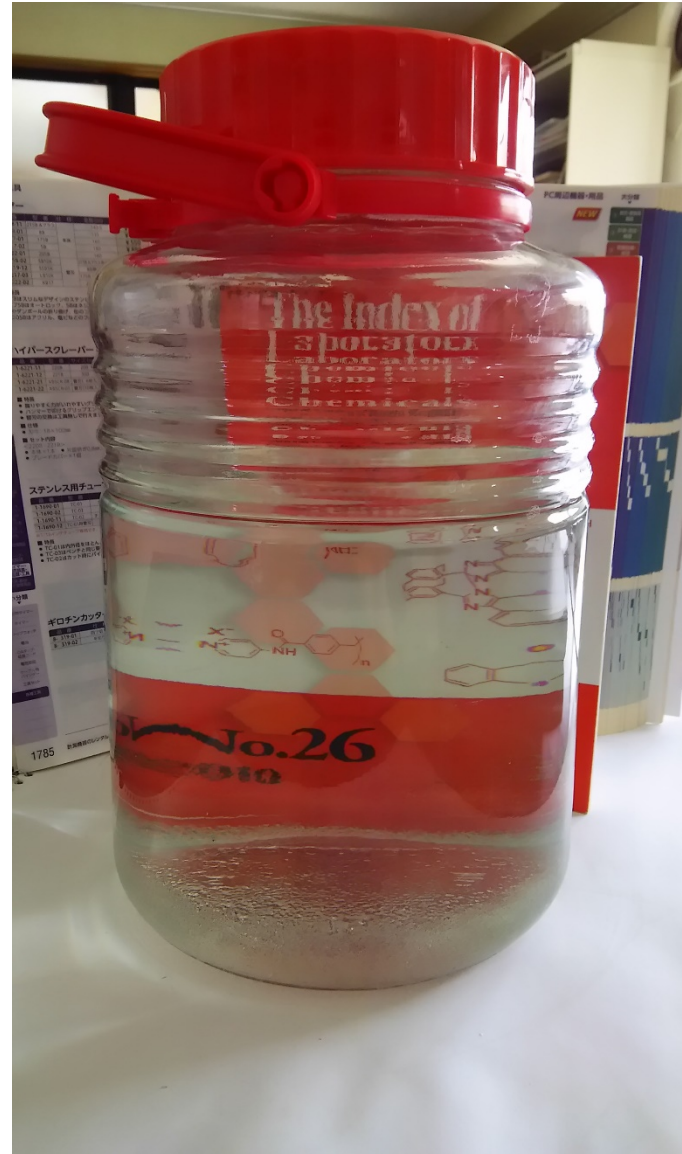
完全無色無臭の当社消臭剤

濃度5%の水溶液

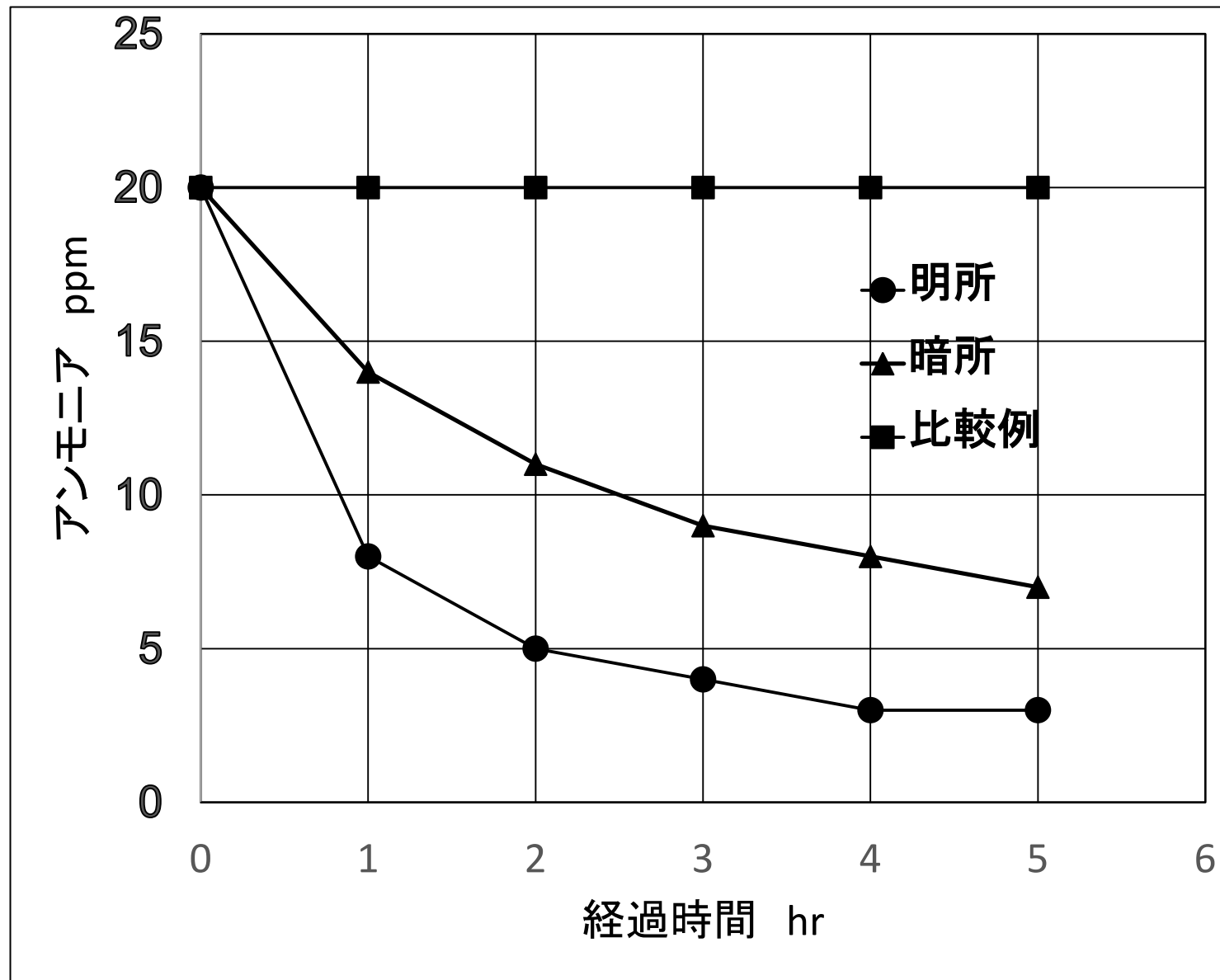
当社消臭剤を分散させた液体を入れた5リットルガラス瓶。
通常は1%で使用。

壁や繊維に塗布しても着色しないために、下地の色調やデザインを損なうことはない。

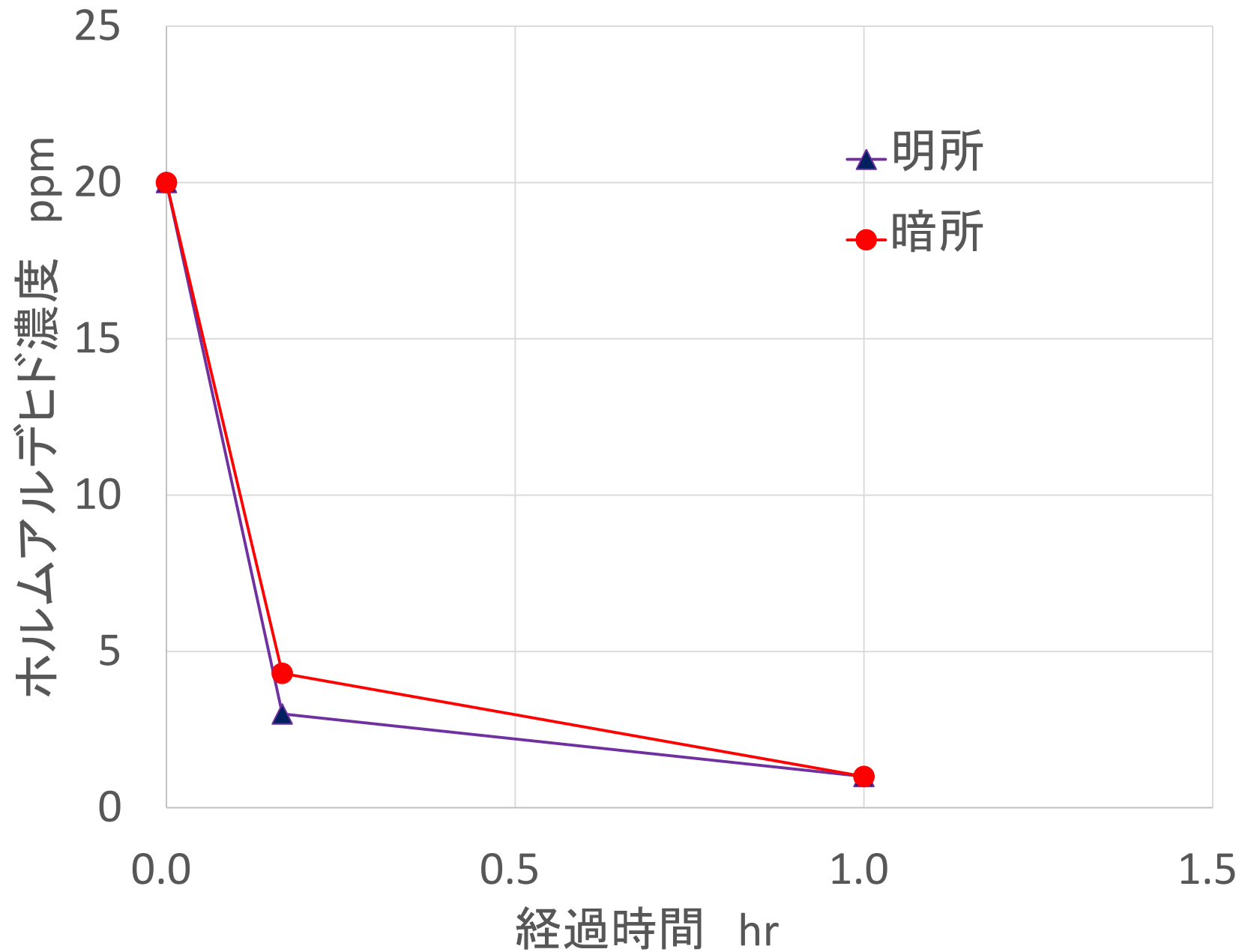
抗菌剤を含んでいるのでやや茶色になっている。



アンモニア分解の測定結果(社内試験)



財団日本食品分析センター(JFRL)の測定結果



財団法人日本食品分析センター(JFRL)の測定結果

記

受付番号 : 第 17051067 号

検体名 : ガラス板上に成膜した光触媒

試験項目 : ホルムアルデヒドのガス除去効果試験

ホルムアルデヒドの試験結果

(単位 : ppm)

試料区分	経過時間 (min)	
	10	60
検体 (明条件)	3.0	<1.0
検体 (暗条件)	4.3	<1.0
空試験	20	20

初期ガス濃度 : 約20 ppm

<1.0 : 定量下限 (1.0 ppm) 未満

以上

一般財団法人カケンテストセンターによる抗菌性試験の結果

黄色ブドウ球菌

試料	生菌数			抗菌活性値	ΔR
	接種直後	8時間光照射後	8時間暗所保存後		
触媒塗布板	2.1E+05	<1.0E+01	2.2E+03	4.4	2.2
無加工板	2.1E+05	2.9E+05	3.7E+05	-	-

大腸菌

試料	生菌数			抗菌活性値	ΔR
	接種直後	8時間光照射後	8時間暗所保存後		
触媒塗布板	1.2E+05	4.3E+01	3.3E+01	4.0	-0.2
無加工板	1.2E+05	4.9E+05	7.3E+05	-	-